

後期始業式

おはようございます。このところ、朝晩北風が吹いて秋の深まりを感じるころとなりました。今日の新聞の号外に京都大学の山中伸弥教授がノーベル賞を受賞するという日本人としてとても喜ばしい記事が載っていました。それは、「皮膚などの細胞を操作し、心臓や神経など体のさまざまな細胞になれる能力を持たせることができた」というものです。さらに研究が進めば、多くの人の生命を助けることができるそうです。現在、世界で活躍する日本人がたくさんいます。皆さんにもその可能性があります。夢と希望を持ってどんな分野でも結構です。自分の可能性に挑戦してみてください。

さて、先週土曜日に前期が終わり、いよいよ今日から後期が始まります。まさしく「向中64年の集大成」となる最後の半年となります。皆さんの前期の活動は、物事のまとめという集大成の意味をよく理解し、随所に「向中の勢い」を見せてくれました。皆さん一人ひとりにとっても、向中にとっても大きな節目となる残された6ヶ月間、一時間一時間の授業を大切に、一つひとつが最後となる学校行事にも精一杯頑張ってもらいたいと思います。先生方をはじめ、多くの保護者や地域の方々も心より応援してくれています。

来る10月27日(土)には、本校最後の文化祭があります。今年のスローガンは、「全力つくせ! 歴史(フィナーレ)を刻む感動を!」です。中でも、この舞台で繰り広げられる「合唱コンクール」や本校の伝統となっている3年生の「ロックソーラン」は、文化祭の大きな目玉ともなっています。毎年、見学に来られた保護者や地域の方々から大きな感動の拍手をいただいています。9月初旬から少しずつ準備してきましたが、いよいよ本格的な練習が始まります。向中64年の歴史の中で今までにない最高の文化祭にしましょう。

昨年もこの時期にお話しましたが、何かものごとをやるときに「テンションを上げる」という言葉をよく使います。テンション(tension)とは、「緊張」などを意味する英語ですが、日本では一般的に「やる気」などの意味で使われているようです。全員が「テンションを上げて」すなわち「やる気を高めて」頑張ってください。また、人前で何か表現するときには、様々な精神的なプレッシャーがかかります。このプレッシャーを克服するためには、互いに励まし合い、真剣に取り組む毎日の練習と完璧を目指す準備しかありません。そして、本番を迎えたら結果はどうあれ一人ひとりがベストを尽くすことが大切です。限られた時間の中ですが、向中最後の文化祭に向けて、一人ひとりが勉強と練習の両立を図って頑張りましょう。私も文化祭当日の舞台演技や展示作品を楽しみにしています。

以上で後期始業式のお話を終わります。